

水辺再生NPOに栄誉

武蔵野サントリー地域文化賞

地域文化の発展に貢献した個人・団体を顕彰する今年度の「サントリー地域文化賞」に、武蔵野市の認定NPO法人「生態工房」が選ばれた。都内を中心とした各地の池で水を抜いて清

掃などを行う「かいぼり」を支援し、地域住民による豊かな水辺再生を先導した点が評価された。

生態工房は2014年に



井の頭池で2018年に行われたかいぼりの様子。サントリー文化財団提供

井の頭公園（武蔵野市、三鷹市）にある「井の頭池」のかいぼり事業に参加し、ゴミの撤去や外来生物の駆除に着手したのを始め、練馬区の「石神井池」など各地の水辺の浄化や生態系保全に取り組んでいる。

生態工房の片岡友美理事長(49)は「水をきれいにし外来種をなくそうという活動がストリートに評価されたことがうれしい」と喜びを語った。今後は都内を中心に水辺を含めた里山の復活にも力を入れたい、という。

同地域文化賞は今年度、国内から19件の推薦があり、書面審査や現地調査を経て、5団体が選ばれた。受賞団体には正賞の盾と副賞300万円が贈られる。